

トリー様、この後ろ手に縛られた格好は…  
ホライゾン、これは大罪武装

「卑猥の羞恥」を駆動させるための準備だ！

ジャツジ。しかし、そのような武装は記憶しておりません。

まあ、そのへんは置いとけ。

じゃあ、そのプリケツから行くぞー。ほーら



まずはスパンキング！

トリー様… 何を？

はいまずファーストスパーン入りまーっす！

ほーら、次々いってみよー!!!

はいスパーン!!! もひとつスパーン!!!

ストップ

ア

ッ



これが「卑猥」の感情：  
ホライゾンはこんな感情、  
知りたくはありませんでした。

違どうぞー！ホライゾン!!!

これは「卑猥」にたどり着くための過程、

「被虐」に過ぎない！

言わば俺の趣味だ!!!

ズキ

ズキ



よーしホライゾン、次はこれにまたがって  
しっかりと腰を振るんだぞ！

ジャツジ。

ホライゾンには感情は分かりません。  
でも、これには何か、何かがあるものと感じます。



いい顔してるぞー!!!

そーだ、その感情が「卑猥」だぞー。

どうだ、どんな気持ちかなー

トリー様!!

ホライゾンは、

この込み上げてくる何かを抑えることが...

できそうにはありませんっ!!!

これは、どこかに行く... イッていしまいます!!

ぺっ

ぞっ



じ  
ま  
ー

。

すまん、ホライゾン。  
なんかやり過ぎちまったみてーだ。

でもまっ、その恍惚っぷり、  
多幸感たっぷりでよかったぜ!!!

















